

令和5年度 年間計画・評価計画

教科	国語科	学年	第1学年
----	-----	----	------

【教科の目標】

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に扱うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学習活動
1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝のリレー</li> <li>○野原はうたう</li> <li>○声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○詩を通読する。詩を読んで想像したことや、好きな言葉や表現を交流する。詩の特徴を生かして音読する。</li> <li>○国語で何を学ぶのかを考える。速さ、声の強弱、問の取り方、言葉の調子、声の高さを変えて詩を音読する。</li> <li>○音読・発表のしかたを理解する。ノートの書き方、工夫のしかたを理解する。辞典・事典で言葉を調べる方法を理解する。</li> </ul>
1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○シンシユン</li> <li>○情報を正確に聞き取る</li> <li>○季節のしおり 春</li> <li>○比較・分類</li> <li>○情報を整理して書く</li> <li>○漢字の組み立てと部首</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作品を通読し、全体像を捉える。場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化を整理する。読み深めた感想を交流する。</li> <li>○情報を的確に聞き取る必要がある場面を挙げる。効果的なメモの取り方を確かめる。</li> <li>○桜にまつわる言葉や、春の情景を詠んだ歌詞や詩、短歌、俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</li> <li>○情報を比較・分類する方法を確かめる。</li> <li>○目的や相手を明確にして題材を決める。情報を集め、整理する。構成を考える。下書きをし、文章にまとめる。</li> <li>○漢字の組み立てに興味をもつ。偏旁冠脚について理解する。部首の種類について理解する。漢和辞典を利用して、練習問題に取り組む。</li> </ul>
1	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ダイコンは大きな根?</li> <li>○ちょっと立ち止まって</li> <li>○意見と根拠</li> <li>○話の構成を工夫しよう</li> <li>○漢字に親しもう2</li> <li>○言葉のまとまりを</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文を通読し、文章の中心的部分を捉える。段落の役割について考える。わかりやすく説明するための筆者の工夫について、考えたことを発表し合う。</li> <li>○文章の構成に着目し、要旨を捉える。文章の構成に着目し、その効果を考える。生活の中で、ものの見方や考え方が広がったと思われる体験や事例について、考えたことを伝え合う。</li> <li>○意見の根拠を確認することの大切さを理解する。説得力のある根拠について考える。意見と根拠の結び付きを考える。</li> <li>○話題を決め、材料を選ぶ。話の構成を考える。スピーチの練習をする。スピーチの会を開く。</li> <li>○新出漢字を確認する。</li> <li>○例文を音読し、間を取った箇所を確認する。言葉のまとまりについて考</li> </ul>

		<p>考えよう</p> <p>○情報を集めよう</p> <p>情報を読み取ろう</p> <p>情報を引用しよう</p>	<p>える。</p> <p>○調べる内容を絞り込む。調べ方を考え、情報を集める。情報を読み取る。情報の適切な引用のしかたを考える。著作権について知る。</p>
1	7	<p>○詩の世界</p> <p>○比喻で広がる言葉の世界</p> <p>○指示する語句と接続する語句</p> <p>○言葉を集めよう</p> <p>○読書を楽しむ</p> <p>○本の中の中学生</p> <p>○季節のしおり 夏</p>	<p>○詩を読んで、感じたことを交流する。描かれた情景や表現の効果について話し合う。詩のよさを発表する。詩の表現を参考にして、詩を作る。</p> <p>○段落の役割を押さえて読み、内容を捉える。言葉について考える。</p> <p>○指示する語句や接続する語句について関心をもつ。指示する語句について理解する。接続する語句について理解する。学習したことを日常につなぐ。</p> <p>○友達に紹介したいものを決める。観点を決めて、言葉を集める。100字程度で紹介文を書く。</p> <p>○さまざまな読書活動を知る。ポップ、読書掲示板用の感想、読書記録を提出する。</p> <p>○「本の中の中学生」の三編の作品を読む。</p> <p>○風にまつわる言葉や夏の情景を詠んだ詩、俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p>
1 ・ 2	9 10 11	<p>○大人になれなかった弟たちに……</p> <p>○星の花が降るころに</p> <p>○聞き上手になろう</p> <p>○項目を立てて書こう</p> <p>○読み手の立場に立つ</p> <p>○方言と共通語</p> <p>○漢字の音訓</p> <p>○「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ</p> <p>○原因と結果</p> <p>○根拠を示して説明しよう</p> <p>○漢字に親しもう3</p> <p>○〔話し合い〕話し合いの展開を捉える</p>	<p>○描写に着目して登場人物の心情を捉える。題名のもつ意味について考える。表記に込められた、作者の意図を考える。思いを伝える朗読会をする。</p> <p>○「私」を中心に作品の内容を押さえる。場面や描写を結び付けて読む。印象に残った場面や描写を語り合う。</p> <p>○きき方の工夫や質問の種類を知る。対話の練習をする。</p> <p>○案内文の書き方を確かめる。案内する事柄と相手を決め、情報を整理する。案内文を作成する。</p> <p>○読み手の立場に立って、案内文を推敲する。書きかえた案内文について、伝えようとする内容が正確に、わかりやすく書き表されているか、友達と話し合う。</p> <p>○地域による言葉の違いについて関心をもつ。方言と共通語の違いを理解する。方言と共通語のそれぞれの役割や特徴について理解する。</p> <p>○漢字の読みには「音」と「訓」があることを理解する。「音」と「訓」の歴史や性質を理解する。漢和辞典を利用して、練習問題に取り組む。</p> <p>○文章の構成と内容を捉える。論の展開に着目し、その効果を考える。結論に説得力をもたせるために、どのような工夫をしているか、本文の記述や図表などを根拠として、自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>○原因と結果がどのようにつながっているかを整理する。原因と結果のつながりに無理がある例を確かめ、パターン別に整理する。</p> <p>○課題を決め、調査を行う。調査結果を整理し、構成を考える。図表などを引用してレポートを作成する。レポートを読み、評価し合う。</p> <p>○新出漢字を確認する。</p> <p>○話し合いの目的を確認する。話し合いの例文を聞き、当てはまる言葉を検討する。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○話題や展開を捉えて話し合おう</li> <li>○大阿蘇</li> <li>○季節のしおり秋</li>   <li>○いろは歌 古典の世界</li> <li>○蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から</li> <li>○今に生きる言葉</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し合いの話題を決め、目的を明確にする。自分の考えをまとめる。司会と書記を決め、グループで話し合う。話し合いの結果を報告する。</li> <li>○言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。</li> <li>○月にまつわる言葉や、秋の情景を詠んだ俳句や和歌、小説の一説を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</li> <li>○「いろは歌」を音読する。 3年間の古典学習について見通しをもつ。</li> <li>○作品を通読する。古典の文章について、現代の文章との違いを確かめる。描かれている古典の世界を想像する。</li> <li>○漢文を音読し、独特のリズムや言い回しに親しむ。本文を読み、故事成語について理解する。故事成語を使って、体験文を書く。</li> </ul>
2	12 ・ 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「不便」の価値を見つめ直す</li> <li>○助言を自分の文章に生かそう</li> <li>○漢字に親しもう4</li> <li>○言葉の関係を考えよう</li> <li>○考える人になろう 君たちはどう生きるか・たのしい制約</li> <li>○季節のしおり冬</li> <li>○少年の日の思い出</li> <li>○漢字に親しもう5</li> <li>○単語の性質を見つけよう</li> <li>○随筆二編</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本文を通読し、内容を捉える。筆者の考えを要約する。根拠を明確にして、意見をまとめる。</li> <li>○作品を選び、内容や魅力进行分析する。どの観点から論じるかを決め、書評を書く。友達どうして書評を読み、助言し合う。</li> <li>○新出漢字を確認する。</li> <li>○言葉の関係について考える。「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」を理解する。</li> <li>○「君たちはどう生きるか」「たのしい制約」の文章を読み、筆者のものの見方や考え方を捉える。文章を読んで考えたことをグループで発表し合う。</li> <li>○雪にまつわる言葉や、冬の情景を詠んだ詩や俳句、文章の一説を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</li> <li>○作品の展開を捉える。「僕」の心情の変化をまとめる。別の人物の視点から文章を書き換える。</li> <li>○新出漢字を確認する。</li> <li>○単語の性質について考える。「自立語と付属語」、「活用の有無」、「品詞」、「体言と用言」について理解する。</li> <li>○語句や表現の工夫に着目する。筆者の考えや思いについて話し合う。自分の体験を振り返って伝え合う。</li> </ul>
2	2 ・ 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○構成や描写を意識して書こう</li> <li>○様々な表現技法</li> <li>○漢字の成り立ち</li> <li>○1年間の学びを振り返ろう</li> <li>○さくらの はなびら</li> <li>○学習を振り返ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○随筆の題材を選ぶ。具体的な材料を書き出す。構成を考える。随筆を書く。</li> <li>○表現による印象の違いを挙げる。表現技法によるリズムの違いや効果について考える。比喩の種類による印象の違いを考える。</li> <li>○漢字の成り立ちについて理解する。漢和辞典を利用して練習問題を解き、漢字の成り立ちを調べ、分類する。</li> <li>○観点を決め、一年間の学習を振り返る。集めた情報を整理し、発表内容を決める。話の構成を考え、フリップを作る。グループ内で発表する。</li> <li>○詩を読み、印象に残った表現を発表する。三つの表現の意味を考える。作者の思いについて語り合う。</li> <li>○学習課題に取り組む。</li> </ul>

【評価の観点と方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔観点〕 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるか。	〔観点〕 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるか。	〔観点〕 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養っているか。
〔方法〕 定期考査，小テスト，作品（作文・書写等），提出物（ワーク，プリント等），授業への取組（ノート等）	〔方法〕 定期考査，小テスト，作品（作文・書写等），提出物（ワーク，プリント等），授業への取組（ノート等）	〔方法〕 作品（作文・書写等），提出物（ワーク，プリント等），授業への取組（ノート等）

【学習へのアドバイス】

(1) 学習前の準備

- ・授業で扱う文章に目を通しましょう。
- ・あらかじめ語句の意味を調べておくと、授業での理解が進みます。
- ・忘れ物をしないよう、持ち物の確認をしっかりと行いましょう。

(2) 授業では・・・

- ・教員や級友が話しているときは静かに聞きましょう。
- ・級友の意見を聞き取り、メモを取りましょう。(自分の意見と区別できるよう、色ペンを使いましょう)
- ・考えをまとめる、説明するときは、根拠を明確にしましょう。

(3) 家庭では・・・

- ・授業で学習した題材について、ワークで復習しましょう。また、間違った問題の訂正を確実にしましょう。
- ・積極的に読書をししましょう。

令和5年度 年間計画・評価計画

教科	国語科	学年	第2学年
----	-----	----	------

【教科の目標】

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に扱うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学習活動
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見えないだけ</li> <li>○アイスプラネット</li> <li>○問いを立てながら聞く。</li> <li>○季節のしおり春</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○詩を通読し、好きな言葉や表現を発表する。詩の特徴を生かして朗読する。</li> <li>○作品を通読し、登場人物について整理する。「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いを読み取る。「ぐうちゃん」に対する自分の思いをまとめる。</li> <li>○「友達の提案」を聞き、要点をメモする。メモを基に、意見や根拠について検討する。</li> <li>○春の行事・暦に関わる言葉や、春の情景を詠んだ詩歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○枕草子</li> <li>○思考の視覚化</li> <li>○多様な方法で情報を集めよう。</li> <li>○熟語の構成 漢字に親しもう1</li> <li>○クマゼミ増加の原因を探る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「枕草子」を朗読し、古文を読み味わう。作者のものの見方や感じ方を読み取る。自分流「枕草子」を書く。</li> <li>○教材文を読み、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。</li> <li>○調べる職業を決め、情報を集める。集めた情報を分類・整理する。紙面構成を考える。下書きし、紙面を作る。完成した作品を読み合い、感想を伝え合う。</li> <li>○教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。</li> <li>○全体と部分の関係に注意して、構成を捉える。文章と図表の関係に注意して、内容を読み取る。考えたことを話し合う。</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体と抽象</li> <li>○魅力的な提案をしよう</li> <li>○漢字に親しもう2</li> <li>○単語をどう分ける？</li> <li>○メディアを比べよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教材文を読み、具体と抽象の概念を理解する。</li> <li>○提案内容を決めて、情報を集める。効果的な話の構成を考える。プレゼンテーションをする。プレゼンテーションを振り返り、よかった点や改善点を考える。</li> <li>○新出漢字を確認する。</li> <li>○単語が幾つかの観点で分類されることを確かめ、そのうち「自立語」について学ぶことを理解する。自立語の各品詞の性質などについて理解する。</li> <li>○メディアを比べて、特徴を理解する。目的や状況に応じたメディアの選び方を考える。情報を受け取る際の留意点を考える。</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○短歌に親しむ</li> <li>○短歌を味わう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「短歌に親しむ」を通読し、短歌を朗読する。短歌についてまとめる。「短歌を味わう」を読み、内容や表現のしかたについて感じたことを話し</li> </ul>

	<p>短歌を作ろう</p> <p>○言葉の力</p> <p>○類義語・対義語・多義語</p> <p>○言葉を比べよう</p> <p>○読書を楽しむ</p> <p>○翻訳作品を読み比べよう</p> <p>○季節のしおり夏</p>	<p>合う。「短歌を作ろう」に取り組む。</p> <p>○文章を要約して、内容を捉える。筆者の考え方について話し合う。</p> <p>○導入の課題に取り組み、言葉どうしの関係性について興味をもつ。教材文を読み、類義語・対義語・多義語について理解する。</p> <p>○言葉を分類して、類義語を集める。類義語を比較し、わかったことを話し合う。「対義語を考える」に取り組む。</p> <p>○教材文を通読し、さまざまな読書活動を知る。「本の紹介合戦」、「読書ポスター」、「本のリスト」の内容に沿って、見通しを立てる。グループごとに活動を行い、感想を発表し合う。</p> <p>○二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べる。翻訳や外国文学について知る。今後読みたい本を考える。</p> <p>○夏の行事・暦に関わる言葉や、夏の情景を詠んだ詩歌などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p>
9	<p>○盆土産</p> <p>○字のない葉書</p> <p>○聞き上手になろう</p> <p>○表現を工夫して書こう</p> <p>○表現の効果を考える</p> <p>○敬語</p>	<p>○作品の構成を捉える。登場人物の言動の意味を考える。自分が捉えた作品の印象を伝え合う。</p> <p>○全文を通読する。二つの思い出を整理する。表現に着目して、人柄や心情について読み取る。父親に対する「私」の思いについて考える。</p> <p>○インタビューの準備をする。インタビューを行う。</p> <p>○手紙と電子メールを比較し、活用場面を考える。伝えたい内容を決め、通信手段を選ぶ。手紙や電子メールを書く。</p> <p>○手紙の下書きを読み、適切な文字や表記に書き改める。より効果的な表現を考える。</p> <p>○敬語の使い方について考える。敬語の働きや種類について理解する。敬語の組み合わせについて考える。</p>
10	<p>○同じ訓・同じ音をもつ漢字</p> <p>漢字に親しもう3</p> <p>○モアイは語る一地球の未来</p> <p>○根拠の吟味</p> <p>○根拠の適切さを考えて書こう</p> <p>○漢字に親しもう4</p> <p>○〔討論〕異なる立場から考える</p> <p>○立場を尊重して話し合おう</p>	<p>○同じ訓をもつ漢字の使い分けについて理解する。同じ読みで意味の異なる言葉（同音異義語）の使い分けについて理解する。</p> <p>○文章の構成に着目し、内容を捉える。論理の展開を吟味する。筆者の主張に対する考えを文章にまとめる。</p> <p>○根拠を吟味する方法を理解する。</p> <p>○課題を決め、分析する。立場を決めて考えをまとめる。反論を想定して、構成を考える。意見文にまとめる。意見文を友達と読み合う。</p> <p>○新出漢字を確認する。</p> <p>○テーマに沿って集められた事実を読む。賛成・反対それぞれの立場の人が、事実を基にどんな意見を述べるのかを考える。</p> <p>○討論のテーマを決め、情報を集める。立場を決めて、考えをまとめる。グループで討論する。討論を振り返る。</p>
11	<p>○音読を楽しもう</p> <p>月夜の浜辺</p> <p>○季節のしおり秋</p> <p>○源氏と平家</p>	<p>○詩を声に出して読む。表現に着目し、その効果について考える。言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。</p> <p>○秋の行事・暦に関わる言葉や、秋の情景を詠んだ詩歌などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p> <p>○資料を読み、主要な人物や主な戦いについて知る。概要と文章の特徴を</p>

	<p>平家物語</p> <p>○扇の的—「平家物語」から</p> <p>○仁和寺にある法師—「徒然草」から</p> <p>○漢詩の風景</p>	<p>知る。冒頭部分を音読し、独特の調子とリズム、言葉の響きを味わう。冒頭部分の現代語訳を読み、「平家物語」を貫く「無常観」のイメージをもつ。作品を貫く「無常観」と重ねて冒頭部分を朗読する。</p> <p>○「平家物語」の冒頭部分と「扇の的」を繰り返し朗読する。登場人物の言動から、心情を考える。読み取ったことを基に自分の考えを述べる。</p> <p>○「徒然草」の冒頭部分と「仁和寺にある法師」の原文を朗読する。本文を読み、内容をまとめる。法師と同じような勘違いをした経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合う。人物の特徴を捉えて、文章にまとめる。文章を友達と読み合い、学習を振り返る。</p> <p>○漢詩の特徴を生かして朗読する。解説を手がかりに、漢詩を読み味わう。好きな漢詩を選び、その理由を伝え合う。</p>
12	<p>○君は「最後の晚餐」を知っているか</p> <p>○魅力を効果的に伝えよう</p> <p>○漢字に親しもう5</p> <p>○走る。走らない。走ろうよ。</p> <p>○研究の現場によるこそ</p> <p>○季節のしおり冬</p>	<p>○内容を捉える。文章を比較して、構成や表現の特徴を捉える。考えたことを文章にまとめる。</p> <p>○作品を鑑賞する。表現の効果を考える。鑑賞文を書く。文章を読み合い、意見交換をする。</p> <p>○新出漢字を確認する。</p> <p>○「活用」の意味や用語について理解する。動詞・形容詞・形容動詞の活用について理解する。</p> <p>○「研究の現場によるこそ」「クモの糸でバイオリン」を通読する。感想を伝え合う。「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考える。</p> <p>○冬の行事・暦に関わる言葉や、冬の情景を詠んだ詩歌を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p>
1	<p>○走れメロス</p> <p>○漢字に親しもう6</p> <p>○一字違いで大違い</p>	<p>○全文を通読し、作品の設定と構成を押さえる。場面の展開に即して人物像を読み取る。作品の魅力をまとめ、語り合う。</p> <p>○新出漢字を確認する。</p> <p>○付属語の働きと種類について理解する。助動詞の働きについて理解する。助詞の種類と働きについて理解する。</p>
2	<p>○構成や展開を工夫して書こう</p> <p>○話し言葉と書き言葉</p> <p>○送り仮名</p> <p>○国語の学びを振り返ろう</p>	<p>○これまでに学習してきた物語や小説を振り返る。題材を考える。物語の設定とあらすじを考える。構成や展開を工夫して物語を書く。友達が書いた物語を読み、助言し合う。</p> <p>○導入の例文から、話し言葉と書き言葉の違いについて考える。音声の特徴から話し言葉を捉え、文字の特徴から書き言葉を捉える。</p> <p>○送り仮名が漢字の読みを明らかに示すために付けられていることを確認する。送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。</p> <p>○グループで話し合い、壁新聞のテーマを決める。壁新聞の内容を話し合う。壁新聞を作る。壁新聞を読み合い、感想を伝え合う。</p>
3	<p>○木</p> <p>○学習を振り返ろう</p>	<p>○詩を通読する。詩の中の印象に残った表現を挙げ、どんな印象を受けたかを話し合う。表現の意味を考える。作者のものの見方について語り合う。</p> <p>○学習課題に取り組む。</p>

【評価の観点と方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔観点〕 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができているか。	〔観点〕 論理的に考える力や共感したり想像する力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているか。	〔観点〕 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養っているか。
〔方法〕 定期考査，小テスト，作品（作文・書写等），提出物（ワーク，プリント等），授業への取組（ノート等）	〔方法〕 定期考査，小テスト，作品（作文・書写等），提出物（ワーク，プリント等），授業への取組（ノート等）	〔方法〕 作品（作文・書写等），提出物（ワーク，プリント等），授業への取組（ノート等）

【学習へのアドバイス】

(1) 学習前の準備

- ・授業で扱う文章に目を通しましょう。
- ・あらかじめ語句の意味を調べておくと、授業での理解が進みます。
- ・忘れ物をしないよう、持ち物の確認をしっかりと行いましょう。

(2) 授業では・・・

- ・教員や級友が話しているときは静かに聞きましょう。
- ・級友の意見を聞き取り、メモを取りましょう。（自分の意見と区別できるよう、色ペンを使いましょう）
- ・考えをまとめる、説明するときは、根拠を明確にしましょう。

(3) 家庭では・・・

- ・授業で学習した題材について、ワークで復習しましょう。また、間違った問題の訂正を確実にしましょう。
- ・積極的に読書をしましょう。

令和5年度 年間計画・評価計画

教科	国語科	学年	第3学年
----	-----	----	------

【教科の目標】

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に扱うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその向上を図る態度を養う。

【年間指導計画】

学期	月	単元・題材	学習活動
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界はうつくしいと</li> <li>○握手</li> <li>○評価しながら聞く</li> <li>○季節のしおり春</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○詩を通読する。詩を読み深める。詩の特徴を生かして朗読する。</li> <li>○作品を通読し、設定を捉える。登場人物の人物像を読み取る。登場人物の心情を読み取る。読み深めた感想を交流する。</li> <li>○メモを取る。評価しながら聞く練習をする。</li> <li>○春の気象にまつわる言葉や、春の情景を詠んだ和歌や短歌、俳句、漢詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学んで時に之を習ふー「論語」から</li> <li>○情報の信頼性</li> <li>○文章の種類を選んで書こう</li> <li>○熟語の読み方 漢字に親しもう1</li> <li>○作られた物語を超えて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「論語」という作品について知る。「論語」を読み、孔子の考え方を読み取る。日常生活や自分の生活を振り返り、孔子の言葉が当てはまると思われる体験や伝聞を伝え合う。</li> <li>○問題について、グループで考える。教材文を通読する。</li> <li>○グループで編集会議を開く。紙面構成を考えて下書きをする。下書きを読んで助言し合い、清書する。冊子にまとめ、読み合う。</li> <li>○漢字二字の熟語には、音または訓を重ねる読み方と、音と訓を組み合わせた読み方があることを知る。さまざまな熟語の読み方について理解する。練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。</li> <li>○全文を通読する。筆者の問題意識（話題）を捉える。筆者の主張と論理の展開を捉える。筆者の主張と論理の展開を評価する。</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○具体化・抽象化</li> <li>○説得力のある構成を考えよう</li> <li>○漢字に親しもう2</li> <li>○すいかは幾つ必要？</li> <li>○実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教材文を通読し、具体化と抽象化の程度について理解する。</li> <li>○話題を決めて、情報を集める。話の構成を考える。スピーチの会を開く。</li> <li>○新出漢字を確認する。</li> <li>○教材文を読み、文法的な観点から表現を見直すことの意義を確認する。文節・連文節の係り受けなど、既習の文法について理解を深め、文法の知識を表現や読解に生かすポイントを確認する。</li> <li>○社会生活の中で触れたことのある実用的な文章を挙げる。パンフレットを読み比べ、共通点と相違点を書き出す。報道文 A・B を通読し、P 課題に取り組む</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○俳句の可能性 俳句を味わう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情景を想像しながら、それぞれの俳句を朗読する。本文を読み、俳句についてまとめる。「俳句を作って楽しもう」に取り組む。</li> </ul>

	<p>俳句を作って楽しもう</p> <p>○言葉を選ぼう</p> <p>○和語・漢語・外来語</p> <p>○読書を楽しむ</p> <p>○「私の一冊」を探しにいこう</p> <p>○季節のしおり夏</p>	<p>○言葉の変化について知る。言葉の変化について話し合う。相手や場面によって、言葉を選ぶ。</p> <p>○和語・漢語・外来語から受ける印象の違いについて考える。和語・漢語・外来語・混種語について理解する。</p> <p>○さまざまな読書の楽しみ方について知る。「ブックトーク」、「読書会」、「読書生活をデザインする」の内容に沿って、今後の見通しを立てる。活動を行い、レポートか活動報告書を提出する。</p> <p>○教科書本文を通読し、本のさまざまな探し方について知る。学校図書館やインターネットを活用するなど、探し方を工夫して、興味がもてそうな本を探す。見つけた本を夏休みに読み、書評やポップを書く。インターネットなどから自分が選んだ本の書評やポップを検索し、自分の書いたものと比べてみる。</p> <p>○夏の気象にまつわる言葉や、夏の情景を詠んだ和歌や短歌、俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p>
9	<p>○挨拶一原爆の写真によせて</p> <p>○故郷</p> <p>○聞き上手になろう</p> <p>○論理の展開を整える</p> <p>○慣用句・ことわざ・故事成語</p>	<p>○作品を通読し、当時の時代背景について確認する。表現を捉える。表現の効果を評価する。自分の意見を述べる。</p> <p>○作品を通読し、作品の設定を捉える。場面や登場人物の設定に着目して読み取る。作品を批評する。</p> <p>○対談の準備をする。対談を行う。</p> <p>○文章を通読し、課題に取り組む。</p> <p>○一まとまりで決まった意味をもつ言葉をできるだけたくさん書き出す。慣用句・ことわざ・故事成語の特徴や性質について理解する。</p>
10	<p>○漢字の造語力 漢字に親しもう3</p> <p>○人工知能との未来</p> <p>○多角的に分析して書こう</p> <p>○漢字に親しもう4</p> <p>○〔議論〕話し合いを効果的に進める</p>	<p>○導入の文章を読み、新しい日本語が考え出された経緯を知る。「翻訳語」と「新しい語」の側面から漢字の造語力について知る。練習問題に取り組み、理解の程度を確かめる。</p> <p>○文章の要旨を捉える。文章の比較を基にグループで討論し、考えを広げる。自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>○批評文について知り、題材を選ぶ。観点を決めて分析する。構成を考える。推敲して仕上げる。</p> <p>○新出漢字を確認する。</p> <p>○テーマについての話し合いの例を聞き、論点を整理する。当てはまる発言を考える。</p>
11	<p>○合意形成に向けて話し合おう</p> <p>○音読を楽しもう 初恋</p> <p>○季節のしおり秋</p> <p>○和歌の世界</p>	<p>○合意形成の重要性を知り、課題を見つけ、議題を決める。グループで具体的な提案を考える。全体会議を開く。</p> <p>○言葉の響きやリズムを味わいながら「初恋」を朗読する。語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取り、感じたことを発表し合う。</p> <p>○秋の気象にまつわる言葉や、秋の情景を詠んだ和歌や俳句、漢詩を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p> <p>○「和歌の世界」を読む。「古今和歌集 仮名序」冒頭部分を朗読し、作</p>

	<p>古今和歌集 仮名序</p> <p>○君待つと一万葉・古今・新古今</p> <p>○夏草―「おくのほそ道」から</p>	<p>者の思いを想像する。</p> <p>○和歌を声に出して読む。和歌の世界を味わう。心に響いた和歌を一首選び、鑑賞文を書く。</p> <p>○作品を朗読する。芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。心に響く俳句について発表する。古典の言葉を引用し、メッセージを贈る。文章を友達と読み合い、学習を振り返る。</p>
12	<p>○古典名句・名言集</p> <p>○誰かの代わりに</p> <p>○情報を読み取って文章を書こう</p> <p>○漢字のまとめ 漢字に親しもう5</p> <p>○「ない」の違いがわからない?</p> <p>○本は世界への扉</p> <p>○季節のしおり冬</p>	<p>○「古典名句・名言集」を朗読する。気に入った名句・名言を選ぶ。</p> <p>○筆者の考えを確認しながら全文を通読する。筆者の考え方について話し合う。自分の考えをまとめる。</p> <p>○グラフから情報を客観的に読み取り、自分なりの問いを立てて分析する。構成や内容を考えて小論文を書き、助言し合う。</p> <p>○二年生までに学習した漢字を復習する。三年生で学習した漢字を復習する。</p> <p>○「ない」の文法上の違いを理解する。文法の問題に取り組む。</p> <p>○「エルサルバドルの少女 ヘスース」と「紛争地の看護師」を読み比べ、登場する人物の生き方について自分の考えをもつ。「本の世界を広げよう」を読み、読んだ本や、興味をもった本について語り合う。</p> <p>○冬の気象にまつわる言葉や、冬の情景を詠んだ俳句や詩、名文を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p>

### 【評価の観点と方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〔観点〕</p> <p>社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができているか。</p>	<p>〔観点〕</p> <p>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているか。</p>	<p>〔観点〕</p> <p>言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養っているか。</p>
<p>〔方法〕</p> <p>定期考査, 小テスト, 作品 (作文・書写等), 提出物 (ワーク, プリント等), 授業への取組 (ノート等)</p>	<p>〔方法〕</p> <p>定期考査, 小テスト, 作品 (作文・書写等), 提出物 (ワーク, プリント等), 授業への取組 (ノート等)</p>	<p>〔方法〕</p> <p>作品 (作文・書写等), 提出物 (ワーク, プリント等), 授業への取組 (ノート等)</p>

## 【学習へのアドバイス】

### (1) 学習前の準備

- ・授業で扱う文章に目を通しましょう。
- ・あらかじめ語句の意味を調べておくと、授業での理解が進みます。
- ・忘れ物をしないよう、持ち物の確認をしっかりと行いましょう。

### (2) 授業では・・・

- ・教員や級友が話しているときは静かに聞きましょう。
- ・級友の意見を聞き取り、メモを取りましょう。(自分の意見と区別できるよう、色ペンを使いましょう)
- ・考えをまとめる、説明するときは、根拠を明確にしましょう。

### (3) 家庭では・・・

- ・授業で学習した題材について、ワークで復習しましょう。また、間違った問題の訂正を確実にしましょう。
- ・積極的に読書をしましょう。